

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	750-8030
部名	生涯学習部	課名	博物館		課長名	井上 進
事務事業名	資料収集保存事業					
予算上の事務事業名	資料収集保存経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実					平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	博物館法・市立博物館条例					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	記録・統計・保存 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)					
本市の自然や歴史、文化を理解し、その特徴を把握する上で必要な資料を、体系的に広く収集し、分野・特徴・性質に応じて分類・整理し適切な保存を図る。						
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> ・学術雑誌の購入及び資料保存 専門図書購入 ・図書情報検索システムの市民研究室への配置 ・写真現像代と文献資料の合本 ・博物館資料保存のための作業委託 博物館資料及び収蔵庫のくん蒸 ・有害生物調査 ・動物資料剥製制作 ・博物館閲覧用図書及び博物館資料の購入 						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	11,095	5,276	5,294	7,588	7,588	
一般財源	11,095	5,276	5,294	6,538	6,538	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	1,050	1,050	
人件費の合計	92,290	88,110	88,770	88,770	88,770	
事業コスト合計(a)	103,385	93,386	94,064	96,358	96,358	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	資料整理作業謝礼			対象名称 (単位)	収蔵点数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	2,034	1,923	1,669	3,440	0	
対象数	135,530	140,314	142,869	144,245	0	
単位あたり経費(円)	15	14	12	24		
前年度比		0.91	0.85	2.04		

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	寄贈収集コレクションのうち、地図の整理保存作業		指標式と指標の説明	地図コレクション総数が目標値、整理できた資料数が実績を示す。年度別の目標達成度では17年度で作業終了となる		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,368.0	1,132.0	1,085.0			
目標	4,719.0	4,719.0	4,719.0	4,719.0	0.0	
目標達成度	0.29	0.24	0.23			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	適正な収蔵率		指標式と指標の説明	収蔵庫別の収蔵点数とその適正率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	135530.0	140314.0	142869.0			
目標	205550.0	243250.0	243250.0	243250.0	0.0	
目標達成度	65.9	57.7	58.7			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 博物館資料の収集に当っては、各分野とともに計画的な収集保存を進めていく。			14 課題として認識されたこと 収蔵点数は年次とともに増加するが、それを保管する収蔵庫の残容量は年次とともに減少する。今後は館としての計画的な収集や収蔵庫の増設を検討していく必要がある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				